

2025 年 8 月 12 日

各 位

会社名	株式会社エクサウィザーズ
代表者名	代表取締役社長 CEO 春田 真 (コード番号：4259 東証グロース)
問合せ先	コーポレート統括本部長 CFO 前川 智明

報告セグメントの変更に関するお知らせ

当社は、2025 年 8 月 12 日開催の取締役会において、2026 年 3 月期第 1 四半期連結会計期間より報告セグメントを変更することを決議しましたので、下記の通りお知らせ致します。

記

1. 報告セグメント変更の理由

当社は創業以来、「AI ぐるぐるモデル」という事業モデルを展開して参りました。このモデルは、個別のお客様との協業を通じて業界共通の課題を抽出し（AI プラットフォーム事業）、それらを汎用的なプロダクト・サービスとして展開すること（AI プロダクト事業）で、社会課題の解決を目指す取り組みです。近年、特に生成 AI 技術の進展により、個別のソリューション提供で得られた知見を基にしたプロダクト化が加速し、「AI ぐるぐるモデル」が本格的な循環を開始致しました。また、2023 年には株式会社スタジアムが子会社としてグループに加わり、昨年度からは業績にも大きく貢献するまでの事業（その他サービス事業）に成長致しました。

このような事業活動の変化と成長の実態や、それに伴う管理体制の変更をより適正に反映するため、当社は 2026 年 3 月期第 1 四半期より、報告セグメントを変更することと致しました。具体的には、AI プロダクト事業の伸びが顕著であり、そのプロダクトの成長をさらに加速させるべく、AI プラットフォーム事業やその他サービス事業に含まれていたプロダクト関連事業を切り出して AI プロダクト事業へ統合致します。また、顧客に深く入り込みながら課題の探索を行いプロダクトの種をソーシングする従来の AI プラットフォーム事業とその他サービス事業を統合して AI ソリューションサービス事業とすることで顧客の幅広い課題発掘を行って参ります。

2. 報告セグメント変更の概要

上記（1）の理由により、次の図の通り、2 つのセグメントへ変更致します。

変更前		変更後	
AI プロダクト事業		AI プロダクト事業	
	exaBase 生成 AI		exaBase 生成 AI
	exaBase DX アセスメント&ラーニング		exaBase DX アセスメント&ラーニング
	CareWiz		CareWiz
AI プラットフォーム事業			【変更】exaBase ロープレ／面談要約／SaMD
	AI システム企画開発		【変更】Dr.Tel
	exaBase Studio	【新設】AI ソリューションサービス事業	
	SI（エクスウェア案件）		AI システム企画開発
	exaBase ロープレ／面談要約／SaMD		exaBase Studio
その他サービス事業			SI（エクスウェア案件）
	営業支援／成長支援		【変更】営業支援／成長支援
	Dr.Tel		

3. 変更時期

2026 年 3 月期第 1 四半期決算より、新報告セグメントにて報告致します。

※報告セグメント変更の詳細については、本日公表した「決算説明資料」をご覧ください。

以 上